

## 第 2 号 議 案

# 2 0 2 1 年 度 活 動 方 針 補 強 (案)

## I. 活動の基本

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、経済・社会・国民生活は甚大な影響を受けました。社会全体に閉塞感が漂い、多くの人たちが雇用不安・生活不安・将来不安をはじめ様々な困難を抱え、とりわけ社会的弱者ほど深刻な打撃を受け、格差や社会の分断が拡大しつつあります。今回の危機的事態を通じ、日本社会のセーフティネットがいかに脆弱であるかが浮き彫りになりました。

昨年度、中央労働者福祉協議会は2030年ビジョンを策定し、「すべての働く人たちの幸せと豊かさを目指して、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくる」を確認し、山積する課題に終止符を打つために「助け合い・支え合い」を社会に根付かせていく政策を打ち出しています。

福井県労働者福祉協議会も中央労働者福祉協議会のビジョン・活動方針を共有し、「こんな時だからこそ、すべての働く人たちの幸せと豊かさ」を目指し、労働者自主福祉運動を推進します。

中部労働者福祉協議会・北陸ブロックとの連携や情報交換を行い、県内勤労者および労働福祉事業団体にとって有益な活動を展開するとともに、コロナ禍のもとでの活動のあり方や会議の持ち方なども考え、取り組みを行って行きます。

具体的には以下の項目を念頭に置き、引き続き活動を進めていきます。

- ① 労働者自主福祉運動への理解促進および労働福祉事業団体の強化・発展に努めます。
- ② 安心できる暮らしの実現に向け、働く人たちのセーフティネットの整備および未組織労働者を含めたすべての労働者の自主福祉運動の拡大に努めます。
- ③ 労働福祉事業団体の事業推進に向け、関係団体との連携、協力を図ります。
- ④ 組織強化に努め、目的意識を持った一体感ある取り組みを目指します。

## II. 具体的な活動

### 1. 労働者自主福祉運動への理解促進および労働福祉事業団体の強化・発展のために

#### (1) 教育活動

##### ① ライフプランセミナー(健康&年金セミナー)

ライフプランセミナーを労福協、北陸労金、こくみん共済 coop、福祉基金協会の4者主催で継続して行います。福井県生涯現役促進地域連携事業とも連携し、60歳以降の働き方や退職に際しての必要な諸準備、心身ともに安心して暮らせる老後の創り方、有意義な老後のあり方などを学んでもらえるためのライフプランセミナーを開催します。

## ② 研修会の開催

労働者福祉協議会および各労働福祉事業団体の理念・歴史を学ぶ研修会を開催します。福井県労福協の活動および労働福祉事業団体の取り組みを理解してもらうことによって、各組織の次代を担う人材育成をはじめ、労働福祉事業団体の事業運営推進に活かすことを目指します。

## ③ (公財)福井県労働者福祉基金協会の研修会協力

(公財)福井県労働者福祉基金協会が主催する研修会がより充実した形で実施できるよう、経費の一部を負担するとともに、運営の協力をします。

## ④ 福井県退職者連合との連携による研修会の開催

福井県退職者連合と共催し、退職者連合の参加者が共感のもてる研修会を開催します。

## ⑤ 福井県生涯現役促進地域連携事業への取り組み

福井県・福井労働局・福井県シルバー人材センター連合・福井県経済団体連合会との連携を強化し事業目的に沿った内容に取り組みます。

## (2)労働福祉事業団体との連携強化

### ① 連合福井の各地域協議会や地区連絡会との連携活動について

チームろうふく活動を支援し、労働組合と労働福祉事業団体の連携強化により、地域での自主福祉活動を推進します。

地協の協力を得て、各労働福祉事業団体の責任者が連合福井を構成する産別・単組を訪問し、事業推進の協力要請を行います。

### ② 「防災・減災フェア」の取り組み

自然災害が多発する昨今、県民の防災意識の向上を目的に「家族でたのしくまなぶ！防災減災フェア」を開催します。各労働福祉事業団体のPRと事業団体間の連携強化を図りながら取り組みます。また、自治体や市民団体などより広く連携し、意義あるイベント開催に努めます。

## 2. 県内で働く全ての人たちが安心して働くために

### (1)こころ支えるネットワーク事業(福井県補助事業)

コロナ禍で不安や困難を抱える方が増加傾向にある中、福井県内の勤労者や県民の方々にとって、心のよりどころとなるよう「働く人の心健やかサポート事業」を進めます。

#### ① メンタルケア・スペシャリスト(MCS)のフォローアップセミナー

2014年から151人のMCSを養成してきました。職場での実践に向けたステップアップ活動に繋がる取り組みを継続的に行います。

フォローアップ研修や情報交換会の開催を行うことによって知識の向上、情報の共有化などにより、MCSとしてのレベルUPと職場での活動を支援します。

また、一般財団法人メンタルケア協会、福井産業保健総合支援センター、福井県立病院と連携して、メンタルケアセミナーを実施する企業や組合に対し、講師派遣の継続を行います。なお、職場や地域でのメンタルケアセミナーの開催、利用拡大を呼びかけます。

② 仕事でところが悩んだら0120-556-291(こころ一ふくい)の周知

県民に対してフリーダイヤルの周知として、チラシの配布やホームページへの掲載ほか、テレビCM、ネット広告などによる周知を行います。電話でのこころの悩み相談だけでなく、相談員による企業等への出張訪問相談も受け付けます。

## (2)生活設計支援のための事業

① 労働相談業務事業(福井県受託事業)

[労使相談センター 丹南事務所・嶺南事務所]

利用拡大に向けて行政機関との連携を強化するとともに、チラシ配布、ネット広告などを活用して周知拡大を図ります。

また、メールによる相談や電話予約による時間外(夜間や休日)対応を継続します。

[過労死防止対策]

連合福井や福井労働局、福井県労働政策課と連携し、街宣活動(福井・丹南・嶺南)で啓発チラシの配布を行うなど、過労死防止対策の取り組みを継続します。

② ライフサポートセンター福井

「くらしの悩み相談窓口」として継続していきます。なお、他県のライフサポートセンターの取り組みを参考に事業運営を取り組みます。

## (3)文化・スポーツ関係事業

①第71回福井県勤労者美術展

(公財)福井県労働者福祉基金協会と共催し、福井県労福協としても経費の一部負担および事業運営に協力します。

②家族ふれあい事業

連合福井の各地域協議会が実施する家族ふれあい行事の趣旨に賛同し、費用および労働福祉事業団体と連携した協力を行います。

③文化公演活動

過去好評であった、スタジオジブリ・レイアウト展、トリックアート展などのチケット補助の取り組みを活かし、今年も県内で開催される催しで補助対象として適当かを検討し、補助していきます。

④第92回福井県中央メーデーおよび各地域協議会メーデー

メーデー意義を主体にした情宣や広報の発信について協力を行うとともに、労働福祉団体のPRを行います。

### 3. 関係団体との連携、協力をより深めるために

#### (1) 福井県

各労働福祉事業団体の円滑かつ効果的な運営に資する要望等を取りまとめ、福井県知事に対して要望書を提出するとともに、意見交換を実施します。

#### (2) 関係議員

連合福井の推薦議員と連携を図るために、意見交換会の開催を検討します。特に福井県に対する要望内容についての理解と支援を図ります。

#### (3) 関係団体

福井県労福協の活動を進めていく上で、福井県をはじめとする各自治体との連携、社会福祉活動での福井県社会福祉協議会などとの連携、福井弁護士会、福井県社会保険労務士会など各団体との連携をとっていきます。

#### (4) 反貧困キャラバン

福井弁護士会、福井県司法書士会、その他関係する市民団体と連携し、反貧困キャラバン2021に参画し、集会や街宣行動を行います。また、貧困問題などについて福井県、福井市をはじめとして、各市町への要請行動にも参画します。

#### (5) 連合福井寄付講座(福井県立大学経済学部において)

「メンタルヘルス対策の重要性・労福協の『こころ支えるネットワーク事業』とは？」と「奨学金制度のしくみについて」の2講座を担当します。

#### (6) 福井県退職者連合、ろうきん友の会との連携

福井県退職者連合からは福井県労福協幹事会に幹事を選出し、活動に参画していますので、継続して連携を図っていきます。

「ろうきん友の会」についても、労福協の機関紙やホームページで紹介するなど引き続き連携を図っていきます。

### 4. 組織強化に向けて

#### (1) 三役会議および幹事会

三役会議(偶数月)、幹事会(奇数月)をそれぞれ年6回の頻度で開催します。

三役会議では中期的観点での組織運営や、各種活動の方向性を検討します。幹事会では活動の具現化と各組織への共有化を図ります。

## **(2)その他の会議**

必要に応じて事業団体TOP連絡会議および実務責任者会議等を開催し、各福祉事業団体の取り組み共有化、およびサポートを行います。

## **(3)中央労福協・中部労福協・北陸ブロック等への対応**

中央労福協・中部労福協の機関会議や研修会に出席し、事業方針や内容の意義を確認するとともに、ブロック各単協の取り組みを参考にし、福井県労福協の事業高位化を目指します。

## **(4)機関紙・ホームページの充実**

労働福祉団体が親近感の持てるよう編集委員会でニーズを踏まえた内容を検討し、機関紙の記事充実を図ります。

ホームページをリニューアルし、タイムリーな情報発信源にしていきます。

## **(5)新型コロナウイルス感染症への対応**

中央労福協、中部労福協・北陸ブロックや連合福井および各労働福祉事業団体と連携・調整しながら、コロナ禍のもとでの活動のあり方や会議のもち方、移動の必要性など、ニューノーマルな運営について検討していきます。

福井県労福協が結成以来これまで培ってきた活動の意義を踏まえ、県内勤労者および労働福祉事業団体にとって有益な活動を目指します。